

25 データに基づくまちづくり研修



～エビデンスに基づく政策形成・事業評価を学ぶ～

目的	EBPM（証拠に基づく政策形成）の概念やEBPMに基づくKPIの利活用の考え方を学ぶとともに、評価手法や政策形成とのつながりを学ぶ。
内容	(1) EBPMやKPIの概念と地方自治体での活用方法を学ぶとともに、施策評価、事務事業評価、事業体系との関係を学ぶ。 (2) KPIの設定の仕方、KPIを使った事業改善手法、設定手法をグループ討議などを通じて学び、政策形成能力の向上を目指す。
実施月日	10月12日（火）～13日（水）
対象者員	【市町村職員との合同研修】 ・係長級キャリアアップ研修対象者で受講を希望する県職員 30名 ・係長級の市町村職員 12名
研修講師 (プロフィール)	一般社団法人日本経営協会 専任講師・コンサルタント 細川 甚孝（ほそかわ しげのり）氏 大学院修了後、各種シンクタンクにおいて、官公庁の施策立案に関する調査、研究を主とし活動、総合計画や行政改革、行政評価手法の策定等に尽力する。その他、官公庁を中心とした地域活性化（農業振興・地域ブランド形成・コミュニティビジネス・観光戦略）や教育、産業振興（教育計画・生涯学習推進計画）なども企画から実際の策定（工程管理含む）まで担当するなど、行政運営、地域活性化を専門としたコンサルタントとして活躍。その間、研修講師としても制度浸透等のために活躍し、現在は政策プランナーとして全国にて各種指導を行っている。 【専門】 政策形成、政策法務、地域活性化、公共マーケティング、施策立案 他 □政策プランナー □早稲田大学パブリックサービス研究所招聘研究員
昨年度受講者の声	・事業を成功させるには、実証的検討が重要であることを学んだ。 ・KPI（中間目標）の設定の仕方や考え方を基礎から説明してもらいわかりやすかった。 ・政策形成にあたってEBPM（エビデンスに基づく政策形成）の考えに基づき、KPIの設定方法や注意すべき点について、演習を交えて学ぶことができた。 ・一般に言われる「PDCA」ではなく、「CAPD」の順が大切であることを学んだ。

日程表		8:50	9:20	9:30	12:00	13:00	16:30
1日目	受付	オリエンテーション	1 時代背景と概念骨子の紹介 2 KPIのあり方・指標としての設定手法	昼食	3 各種業界でのKPIの使い方 4 地方自治体でのKPI利活用の考え方		
2日目	受付		5 地方自治体でのKPI利活用の考え方	昼食	6 演習 7 まとめ		アンケート・閉講
		8:45	9:15		12:00	13:00	16:30

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、ご承知おきください。